

平成25年行政事業レビューシート (外務省)

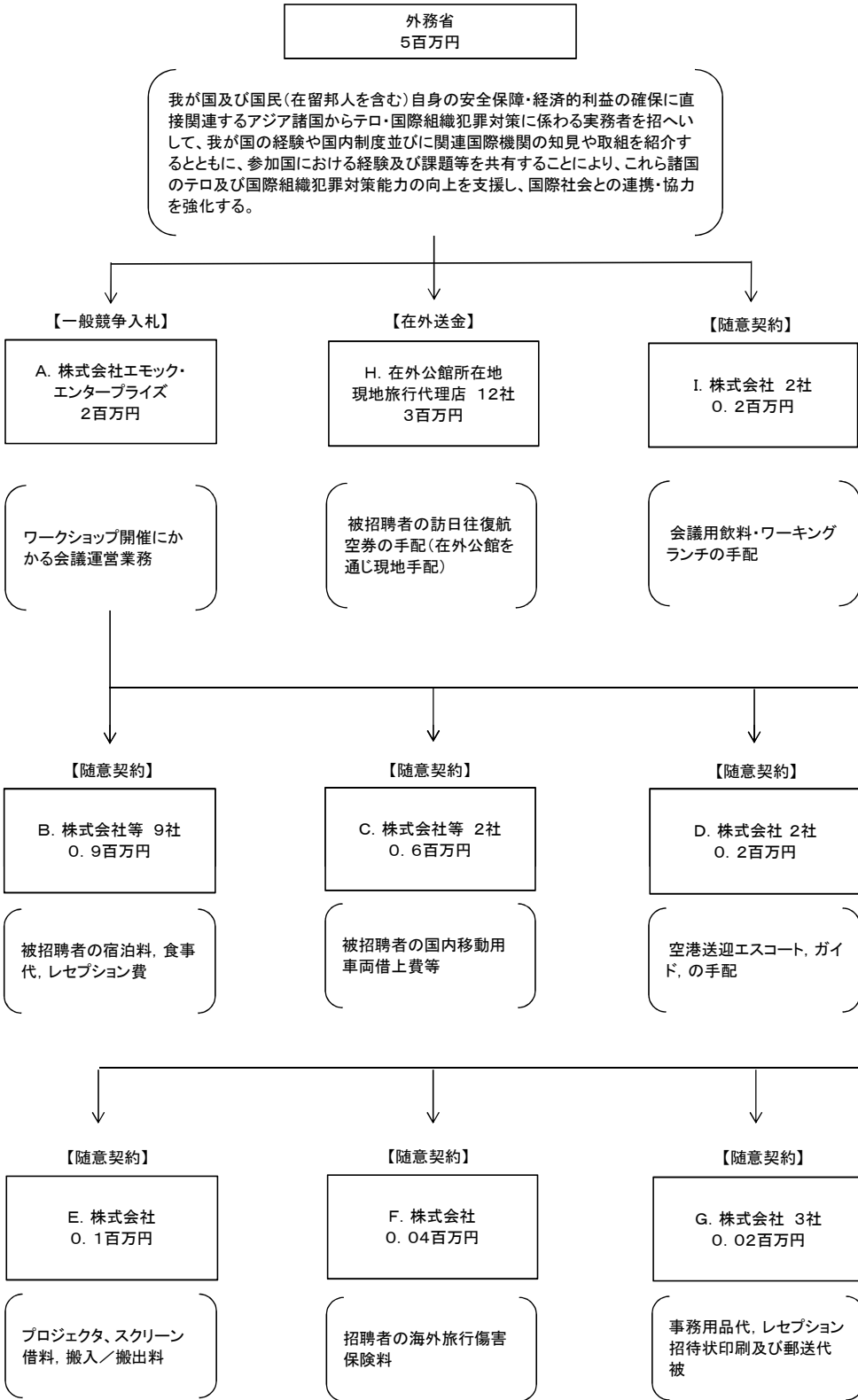
事業名	国際テロ対策	担当部局庁	総合外交政策局	作成責任者				
事業開始・終了(予定)年度	平成15年度開始	担当課室	国際安全・治安対策協力室	室長 川上 文博				
会計区分	一般会計	政策・施策名	基本目標Ⅱ 分野別外交 具体的施策Ⅱ-1-4 国際テロ対策協力及び国際組織犯罪への取組					
根拠法令 (具体的な条項も記載)	外務省設置法第4条第1項	関係する計画、通知等	—					
事業の目的 (目指す姿を簡潔に。3行程度以内)	テロや国際組織犯罪は国境を越えて行われ、また両者は相互補完的な関係にあると言われていることから、その対策には各国が緊密に連携・協調していくことが重要である。また、テロリスト等は法律や規制等の体制が脆弱な国で活動を行う傾向にあり、そのような抜け穴を作らないためにも、ワークショップ開催等を通じて、各国との情報共有や相互理解・連帯感を深めるとともに、国際テロ・組織犯罪対策における脆弱な部分を強化することを目的としている。							
事業概要 (5行程度以内。別添可)	我が国及び国民(在留邦人を含む)自身の安全保障上、また経済的利益の確保に大きな比重を占めるアジア諸国からテロ・国際組織犯罪対策に係わる実務者を招へいして、我が国の経験や国内制度並びに関連国際機関の知見や取組を紹介するとともに、参加国における経験及び課題等を共有することにより、これら諸国のテロ及び国際組織犯罪対策能力の向上を支援し、国際社会との連携・協力を強化する。							
実施方法	☐ 直接実施 ☒ 委託・請負 ☐ 補助 ☐ 負担 ☐ 交付 ☐ 貸付 ☐ その他							
予算額・執行額 (単位:百万円)			22年度	23年度	24年度	25年度	26年度要求	
	予算 の 状 況	当初予算	7	7	7	6	0	
		補正予算	—	—	—	—		
		繰越し等	—	—	—	—		
	計		7	7	7	6	0	
	執行額		3	4	5			
執行率(%)		47.2	49.6	73.5				
成果目標及び成果実績 (アウトカム)	成果指標			単位	22年度	23年度	24年度	目標値 (25年度)
	国際テロ・組織犯罪対策に関するワークショップ参加国数(講師は除く)		成果実績	国	5	4	17	16
			達成度	%	—	—	—	
活動指標及び活動実績 (アウトプット)	活動指標			単位	22年度	23年度	24年度	25年度活動見込
	ワークショップ開催回数		活動実績 (当初見込み)	回	1 (1)	1 (1)	1 (1)	1 (1)
単位当たりコスト	5(百万円/回)		算出根拠	ワークショップ開催経費(5百万)/ワークショップ開催回数(1回)				
平成25・26年度予算内訳	費目	25年度当初予算	26年度要求	主な増減理由				
	招へい費	6	0	事業見直しにより減				
	会議開催委託費	0.8	0					
計	6	0						

事業所管部局による点検							
	項 目			評 価	評価に関する説明		
国 費 投 入 の 必 要 性	広く国民のニーズがあるか。国費を投入しなければ事業目的が達成できないのか。			○	本件ワークショップの対象であるアジア諸国においては、依然としてテロ及び国際組織犯罪の脅威が存在している。このことは、在留邦人の安全に直結し、また投資・観光・貿易等に対する影響を通じ、国民の経済生活にも影響を与える重要な問題である。また、その対処には国家間の協力が必要であることから、国が実施すべき事業である。		
	地方自治体、民間等に委ねることができない事業なのか。			○			
	明確な政策目的（成果目標）の達成手段として位置付けられ、優先度の高い事業となっているか。			○			
事 業 の 効 率 性	競争性が確保されているなど支出先の選定は妥当か。			○	本件ワークショップ開催経費について、委託先の選定は入札によって行われており、業務委託先及び手配先の履行状況を確認する等し、目的の実現や効果の発揮との関係において、本件予算執行は十分に合理的かつ適切なものとなっている。不用率については、入札による経費節減によるものである。		
	受益者との負担関係は妥当であるか。			○			
	単位当たりコストの水準は妥当か。			○			
	資金の流れの中間段階での支出は合理的なものとなっているか。			○			
	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。			○			
不用率が大きい場合、その理由は妥当か。（理由を右に記載）			○				
事 業 の 有 効 性	事業実施に当たって他の手段・方法等が考えられる場合、それと比較してより効果的あるいは低コストで実施できているか。			○	24年度は近年テロ対策分野で注目されている過激化対策をテーマとし、多くの国からの参加を得て、活発な議論を行うことができた。ワークショップでは過激化対策の観点から国際場裏で昨今議論されている論点はほぼ網羅され、各国の経験や課題が共有され、各国のテロ対策及び国際社会との連携・協力を強化することができた。		
	活動実績は見込みに見合ったものであるか。			○			
	整備された施設や成果物は十分に活用されているか。			○			
重 複 排 除	類似の事業がある場合、他部局・他府省等と適切な役割分担を行っているか。 （役割分担の具体的な内容を各事業の右に記載）			—			
	事業番号	類似事業名	所管府省・部局名				
点 検 結 果	ワークショップの開催にあたっては、テロや国際組織犯罪対策におけるアジア諸国のニーズを踏まえたテーマを選定し、関係国際機関と連携し、その深い知見を活用しながら準備を進めることで、より一層テロ・国際組織犯罪対策面でのアジア諸国の対処能力向上に貢献するものにする。						
外部有識者の所見							
—							
行政事業レビュー推進チームの所見							
抜 本 事 業 的 全 体 的 改 善 の 要 求	事業効果を十分に検証し、事業の見直しを図る。						
所見を踏まえた改善点/概算要求における反映状況							
廃 止 要 求	事業見直しにより減。但し国際テロ対策に関する取組については他の事業で引き続き行う。						
備考							
—							
関連する過去のレビューシートの事業番号							
	平成22年	278	平成23年	269	平成24年	218	

個別事業名:国際テロ・組織犯罪対策に関するワークショップ開催

※平成24年度実績を記入。執行実績がない新規事業、新規要求事業については現時点で予定やイメージを記入。

資金の流れ
(資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)
(単位:百万円)



個別事業名:国際テロ・組織犯罪対策に関するワークショップ開催

費目・使途 (「資金の流れ」に おいてブロックご とに最大の金額 が支出されている 者について記載 する。費目と使途 の双方で実情が 分かるように記 載)	A.			E.		
	費 目	使 途	金 額 (百万円)	費 目	使 途	金 額 (百万円)
	計		0	計		0
	B.			F.		
	費 目	使 途	金 額 (百万円)	費 目	使 途	金 額 (百万円)
	計		0	計		0
	C.			G.		
	費 目	使 途	金 額 (百万円)	費 目	使 途	金 額 (百万円)
	計		0	計		0
	D.			H.		
	費 目	使 途	金 額 (百万円)	費 目	使 途	金 額 (百万円)
	計		0	計		0

個別事業名:国際テロ・組織犯罪対策に関するワークショップ開催

支出先上位10者リスト

A.

	支 出 先	業 務 概 要	支 出 額 (百万円)	入札者数	落札率
1	株式会社エモック・エンタープライズ	ワークショップ開催に係る会議運営業務	2	4	62.3

B.

	支 出 先	業 務 概 要	支 出 額 (百万円)	入札者数	落札率
1	株式会社A	被招へい者の宿泊料、食事代、レセプション開催経費	1	随意契約	—
2	レストランA	被招へい者の食事代	0.02	随意契約	—
3	レストランB	被招へい者の食事代	0.00	随意契約	—
4	レストランC	被招へい者の食事代	0.00	随意契約	—
5	レストランD	被招へい者の食事代	0.00	随意契約	—
6	レストランE	被招へい者の食事代	0.00	随意契約	—

C.

	支 出 先	業 務 概 要	支 出 額 (百万円)	入札者数	落札率
1	有限会社A	被招へい者の空港送迎用ハイヤー代	0.5	随意契約	—
2	有限会社B	被招へい者の都内移動用バス借上費	0.1	随意契約	—

D.

	支 出 先	業 務 概 要	支 出 額 (百万円)	入札者数	落札率
1	株式会社A	空港送迎エスコート	0.2	随意契約	—
2	株式会社B	ガイド	0.02	随意契約	—

E.

	支 出 先	業 務 概 要	支 出 額 (百万円)	入札者数	落札率
1	株式会社A	プロジェクト。スクリーン借上費	0.1	随意契約	—

F.

	支 出 先	業 務 概 要	支 出 額 (百万円)	入札者数	落札率
1	株式会社A	被招へい者の海外旅行傷害保険料	0.04	随意契約	—

G.

	支 出 先	業 務 概 要	支 出 額 (百万円)	入札者数	落札率
1	株式会社A	レセプション招待状印刷代	0.01	随意契約	—
2	株式会社B	事務用品代	0.01	随意契約	—
3	株式会社C	招待状郵送代	0.00	随意契約	—

H.

	支 出 先	業 務 概 要	支 出 額 (百万円)	入札者数	落札率
1	海外旅行代理店A	被招へい者の訪日往復航空券の手配	0.5	随意契約	—
2	海外旅行代理店B	被招へい者の訪日往復航空券の手配	0.5	随意契約	—
3	海外旅行代理店C	被招へい者の訪日往復航空券の手配	0.4	随意契約	—
4	海外旅行代理店D	被招へい者の訪日往復航空券の手配	0.3	随意契約	—
5	海外旅行代理店E	被招へい者の訪日往復航空券の手配	0.3	随意契約	—
6	海外旅行代理店F	被招へい者の訪日往復航空券の手配	0.2	随意契約	—
7	海外旅行代理店G	被招へい者の訪日往復航空券の手配	0.1	随意契約	—
8	海外旅行代理店H	被招へい者の訪日往復航空券の手配	0.1	随意契約	—
9	海外旅行代理店I	被招へい者の訪日往復航空券の手配	0.1	随意契約	—
10	海外旅行代理店J	被招へい者の訪日往復航空券の手配	0.1	随意契約	—

I.

	支 出 先	業 務 概 要	支 出 額 (百万円)	入札者数	落札率
1	株式会社A	ワーキングランチ	0.2	随意契約	—
2	株式会社B	会議飲料	0.04	随意契約	—